



デマンド交通シンポジウム  
パネルディスカッション



# パネルディスカッション

- **高齢ドライバーの起こす事故を無くしたい**  
マイカーの利便性を享受した人でも使ってもらえるモビリティサービスが必要
- **オンデマンドの全域フルデマンド交通を活用できないか**
- **どういう形になればマイカーからの転換が可能か**  
マイカー維持費が今後増大していくので、それがきっかけにならないか
- **マイカー手放しても家に閉じこもらないように毎日外出できるようにしたい**  
マイカー維持より安いサブスクのモビリティサービスが実現できないか

こんなことを意識して、パネルディスカッションを進めます。

# パネルディスカッションの構成

- まず，登壇者の自己紹介
- 続いて，**ラウンド1**として，**利用者サイドからみたデマンド交通**
- 次に，**ラウンド2**として，**供給サイドからみた成立性**
- そして最後に，**今後のアクション**

# ラウンド1

- どのようなサービスであれば，使ってみようと思うか
- 使い勝手，オンデマンド性，料金，など
- マイカーからの転換の決め手は
- マイカー維持費をどう考えるか
- 今後のカーボンニュートラルの動きをどう考えるか
- 乗り合いとなることをどう受け止めるか
- バスとタクシーの間の位置づけをどうみるか
- 定額制（サブスクリプション）  
をどう考えるか



## ラウンド 2

- マイカーからの転換層が多数利用するモビリティサービスは実現可能か
- AIオンデマンドは本来多数の需要と多数の車のマッチングをするもの
- マイカーからの転換層が使うと飛躍的に利用が増え、収入も増えるはず

既存のバスやタクシーに代わる交通事業の新たな展開に  
していけないか

事業性の向上で、ドライバ確保等が容易にならないか

- 利用回数や利用距離の上限に応じて、きめ細かな料金設定

バスとタクシーの中間の位置づけ。利便性も料金も



# ラウンド 3

- 中長期的視点では，カーボンニュートラルや人口減少が大きな課題
- 電動車は高い。合成燃料も高い。
- これまでのようにマイカー所有型からサービス利用型への転換
- 自動車産業はCASE対応で，100年に一度のモビリティ革命の時期
- 人口が大きく減少する日本におけるモビリティやまちづくりの姿は？

